

真誠

学校だより
No.10
西東京市立
田無小学校
令和2年
1月31日

日々を大切に過ごすこと・・・

副校長 奥山 奈菜子

一月十八日(土)学校公開の日に、道徳授業地区公開講座を位置付け実施いたしました。当日は、三校時に全学級において特別の教科道徳の授業を公開いたしました。712名の保護者や地域の方にご来校

いただきました。四校時には佐々総合病院院長 鈴木隆文様をお招きして 命と関わる現場から・・・のテーマでご講演をして

いただきました。鈴木院長先生からは、学校のすぐそばにある地域の病院で行われている手術の場面の映像や、患者さんへどのように向き合って医療現場にいるのか。また、ご自身の経験をとおして、がむしやらに目的をもって頑張ることの大切さを学ぶことができました。そして、小学生のうちには勉強だけではなく、むしろ友達との関わりや、今やりたいこと等を一生懸命に取り組み全力で過ごすことの大切さに気付かされました。とにかく、人間としての土台をしっかりとつくることに力を注いでほしいというメッセージが込められているご講演をいただきました。

保護者の方々からも、身近な病院ですが、内情をお聞きする機会があり、勉強になりました。「何のために勉強するのか、何のために学校に行くのか、何のためにみんな協力するのかなど、その理由を知り

ながら日々の学校生活を送ってほしい。」

医療の現場を身近に感じられる雰囲気でお話をいただき子供たちの将来の夢の参考になったのではないかと思います。開かれた病院のイメージになりました。」など、たくさんのご感想も寄せられ有意義な時間となりました。

子育てをしている私たち親の役割は、子供の自ら育つ力を信じて愛情を注ぎ、励まし、その子らしく育つよう見守ることだと考えます。花に例えれば、水をやり、太陽の光を当て、時々周囲の雑草を抜いてあげようとする、かえって花はきれいに咲かないものだと考えます。こうあつてほしい、こんな風だったらいいのと思ってしまうのが親心です。しかし、子供は、親の分身ではありませんし、それぞれに個性があり、そして人生があると考えます。

アメリカの作家の言葉で、毎日の生活の中で親の姿こそが、子供に最も影響力をもつと書かれていました。子供以上に私たち親の振る舞いをよく見ている存在は、ないのではないかと考えます。子供の健やかな成長を願うならば、まず親自身から自らの生き方を見つめることが大切なのではないでしょうか。

保護者の皆さんから、次のようなご相談を受ける機会が多いです。怒ってばかりいる

自分に自己嫌悪です。「もっと褒めてあげたいのに、褒めるところがないのです。」小言を言う機会が増えました。「など。そんなとき、私も自身の子育てを思い出しながらお話をさせていただきました。結果を褒めようとする、なかなか難しい時もあります。でも、やろうとしていてえらいね」「がんばろうとしていてすごいね。」そんなことに気付くことができるなんてすばらしい。」など、是非、過程を褒めてあげてほしいのです。そして、心に余裕があるときばかりではありませんが、いつも笑っていてあげてくださいとお伝えしています。私もこの仕事をしていますので、子供たちが小学生の時も、私が先に家を出て、遅く帰ることが当たり前のような生活をしていました。しかし、子供に顔を合わせるときは、とりあえず疲れていても笑つていようと意識しました。太陽のような存在でいたい。」が子育て中の私のモットーです。私たち学校現場や家庭の「教育」とは、子供と共に大人も自ら成長し続けること。それは、周囲にもよい刺激を与え内発的な成長を促すことができると考えます。

いじめ防止対策委員会
虐待防止校内委員会

二月の主な行事予定

28	27	26	24	20	18	17	14	13	12	11	10	6	5	4	3	1
金	木	水	月	木	火	月	金	木	水	火	月	木	水	火	月	土
六年生を送る会 交流給食	児童集会 保護者会(4.5) 五時間授業(4.5)	特別時程 午前授業	休日	六時間授業始(2)	クラブ発表会	児童朝会 クラブ	避難訓練	児童集会 新一年生保護者会 田無二中(交流会)	特別時程 午前授業	建国記念の日	児童朝会	薬物乱用防止教室(6)	午前授業	はつらつタイム	児童朝会 委員会 短なわキャンペーン始	土曜授業 土曜時程 校内書初展終



今月のスクールカウンセラー来校日は、6日、13日、19日、27日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日の午前9時から9時20分までに(463) 5902まで(相談室直通)または学校に連絡してください。

ふれあい月間

生活指導主任 金子 嘉良

西東京市では、六月、十一月、二月に「ふれあい月間」が設けられています。各学校が、いじめや不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行います。

田無小では「一人一人に、〇〇さんと呼名して出席を確認し、表情を確認すること」や、「学級の児童に一日一回以上、個別に声をかけること」など、いつも以上に意識し、教職員全員で、一人一人の児童を見ていく体制を整えています。

また、学校生活での困り感や、不安を解消するために、ふれあいアンケートの実施を行っています。児童からの記述に対しては、一人一人に聞き取りを行い、丁寧な対応を心がけています。

これからも、児童全員が安心して、そして安全に登校できるよう教職員全員が一丸となり、指導を進めて参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校内研究

研究主任 我妻 研

今年度の校内研究（道徳）のテーマは、「自己の生き方について考え、伝え合い、認め合う児童の育成」です。

先日の道徳地区公開講座のときも、今年度の研究の一環として、各学年や各クラスでどのようにしたら道徳科の目指す価値について深まるのかを、議論をしたり、教材研究をしたりして臨みました。

教材文の読み取りでは、いろいろな考えが出来ます。それを生かしながら、後半の振り返りでは、教材文から少し離れて自分自身のことを振り返って見つけ直します。

友達の考えと自分の考えを比べながら話し合い、様々な考え方をすることに、一層自分の生き方を見つめ直すよい機会となればと思います。

120%の力で・・・

五年担任 浅川 瑠海

五年生は、様々な行事を通して、一回りも二回りも成長してきました。しかし、練習中は、少し集中を切らしている児童もいました。その姿を見て、担任から五年生の皆さんに、「常に120%の力を出しましょう。そうすれば、100%の力が本番で発揮できます。」と声をかけました。全力で取り組むことの大切さに気付いてほしかったからです。この後、この言葉の意味を一人一人が理解し、行事以外の場面でも全力で取り組むことができるようになってきています。

委員会活動では、みんなのために仕事をすることの大切さを感じながら、一生懸命働く姿が見られます。また、普段の授業においても積極的に発言したり、自分の考えを友達に伝えたりすることができています。これからも120%の力を出しながら、自分らしさを発揮し、六年生に向け、進んでいきたいと思っています。

道徳授業地区公開講座

道徳担当 中嶋 都

田無小学校では、『自己の生き方について考え、伝え合い、認め合う児童の育成』を道徳の研究主題として、日々取り組んでいます。

今年度の道徳地区公開講座では、佐々総合病院 院長鈴木隆文様を講師に『命と関わる現場にて・・・』という演題で、ご講演をいただきました。

「夢を叶えるために、自分の好きなことを見つけて熱中することが大切である。何かを始めるのに遅いということはない。」ということをお話しいただきました。子供たちは、無限の可能性を秘めています。そんな子供たちの夢が叶えられるように、周りで支え、励ましていかなくなってなりません。改めてご家庭と連携しながら、取り組む大切さを感じています。これからも子供たちに温かなエールを送っていきたいと思っています。

合唱交流会

音楽専科 伊勢 彩加

一月十一日(土)に、こもれびホールにて合唱交流会が行われました。西東京市内全小学校が参加し、五年生が歌声を発表し聴き合いました。会場には、元合唱研究会理事長 星千鶴子先生がおこしください各学校ごとに講評をくださいました。田無小は、「この地球のどこかで」「With You Smile」の二曲を歌い、そのうち二曲目の最後の部分が特に素敵な歌声ですねとお褒めの言葉をいただきました。広いステージの中、スポットライトを浴び、大勢の観客に見つめられ、とても緊張したことと思います。しっかりと指揮者を見て歌声を響かせる姿がとても素敵で、素晴らしかったです。保護者の皆様におかれましては、送迎など、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

